

	前回（2021年7月判断）	2021年10月判断	前回との比較*
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、横ばい圏内の動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、横ばい圏内の動きとなっている	⇒
東北	サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している	<u>新型コロナウイルス感染症の影響などから、持ち直しの動きが一服している</u>	⇓
北陸	一部に下押し圧力が続いているが、総じてみると持ち直している	一部に下押し圧力が続いているが、総じてみると持ち直している	⇒
関東甲信越	サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している	サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している	⇒
東海	厳しい状態が続く中でも、持ち直している	<u>持ち直しの動きが一服している</u>	⇓
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス消費などへの下押し圧力は一部残るものの、全体として持ち直している	<u>全体としては持ち直しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費への下押し圧力が強い状態にある</u>	⇓
中国	持ち直しのペースが鈍化している	<u>持ち直しの動きが一服している</u>	⇓
四国	新型コロナウイルス感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している	新型コロナウイルス感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している	⇒
九州・沖縄	厳しい状態にあるものの、輸出・生産を中心に持ち直しつつある	<u>持ち直しのペースが鈍化している</u>	⇓

*前回との比較の△、⇓は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる。

[日本銀行 地域経済報告](#)